

信里地区住民アンケート結果報告書

| | |
|---------|---|
| 【実施時期】 | 令和5年8月 |
| 【調査対象】 | 信里地区在住の中学生以上の全住民 |
| 【配布数】 | 904通 |
| 【回収数】 | 786通 |
| 【回収率】 | 86.9% |
| 【有効回答率】 | 83.4% (全問未回答数を差し引いた割合) |
| 【掲載方法】 | 設問の形式によって表記方法は異なります。項目毎の意見については掲載スペースの都合上抜粋、簡略化を行っています。より詳細なデータは信里地域委員会WEBサイト https://nobusato.net/ に掲載します。 |

住民アンケート実施お礼の挨拶

平素は信里地域委員会の運営に格別のご高配を賜りありがとうございます。地区住民の皆様のご協力で2年越しの住民アンケートが実施出来て嬉しく思います。

生活での困りごとや利用したいものとして「農地の荒廃」「草刈り」「木の伐採」などがありますが部会の皆様と対応について“何が出来るか”も含めて検討したいと思えます。

区の統合や役員の選出方法、削減などについては20年来の課題ですが、実現には皆様のご協力が必要です。また自由コメント欄に延べ130余のご意見をいただきましてありがとうございます。これらについても大半が信里に住むみんなで考える提案だと思えます。

地域委員会としても本アンケート結果を基に、地域委員会の事業について種々検討して一つでも改善できる様に頑張りたいと思えますので、これからも皆様のご協力をお願い致します。

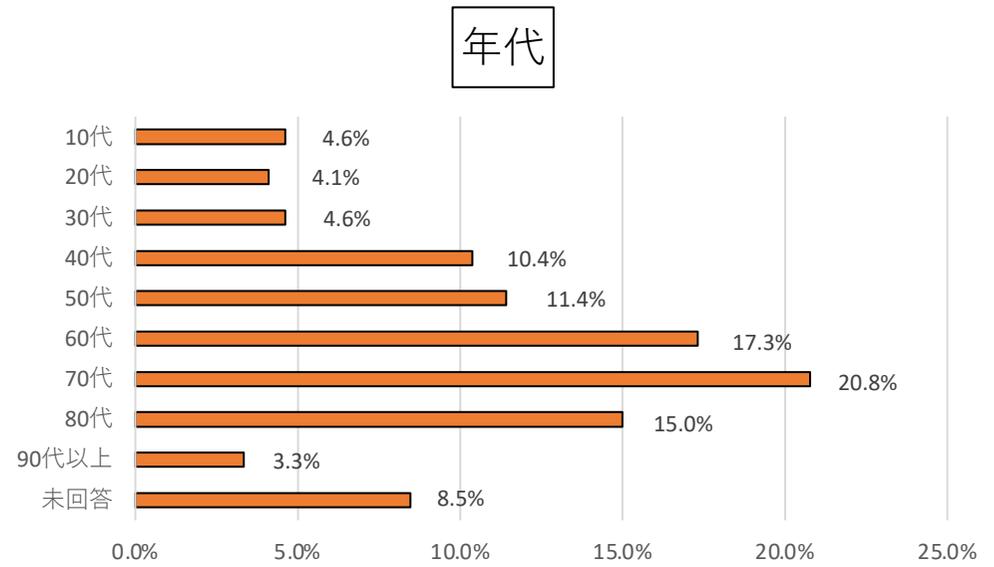
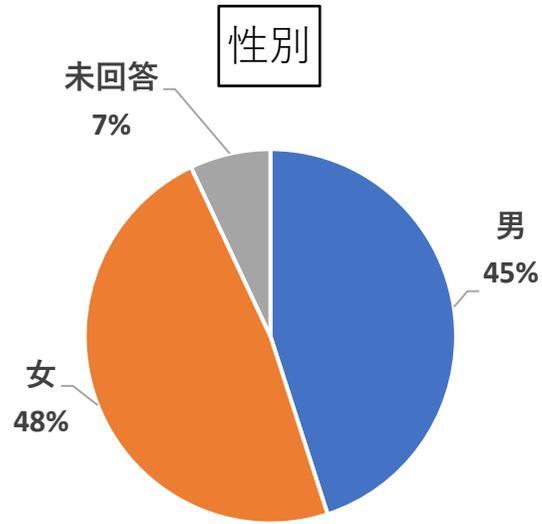
最後に、住民アンケートの実施に際しご協力をいただきました大岡地区住民自治協議会や鬼無里地区住民自治協議会の皆様と、アンケートの作成、配布、集計作業を行った地域委員会役員と有志に感謝いたします。

信里地域委員会 委員長 山下博巳

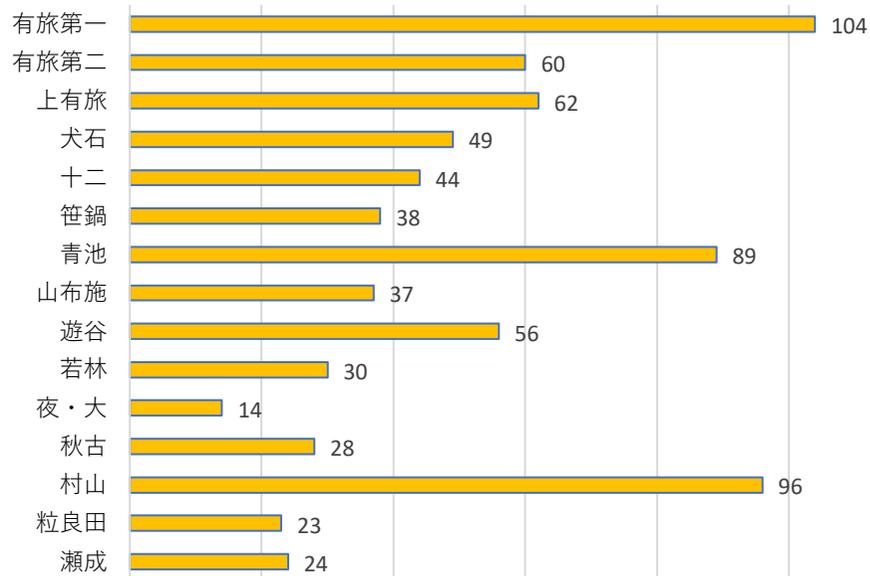
令和6年1月発行

発行者：信里地域委員会

回答者属性



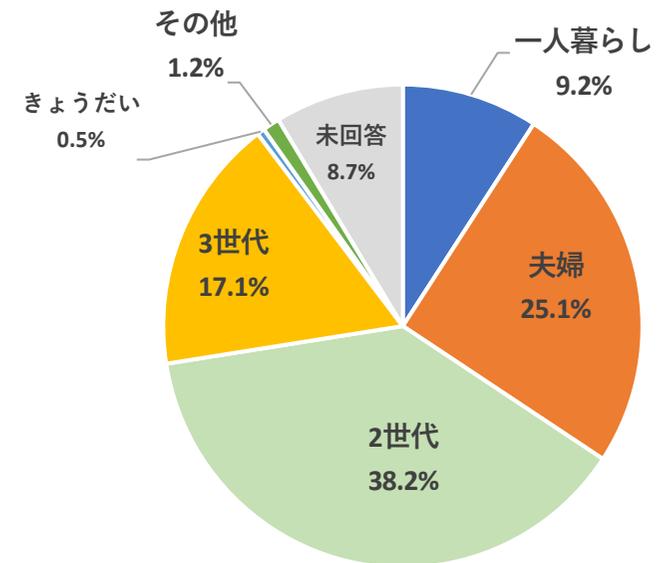
地区別有効回答数



有効回答率

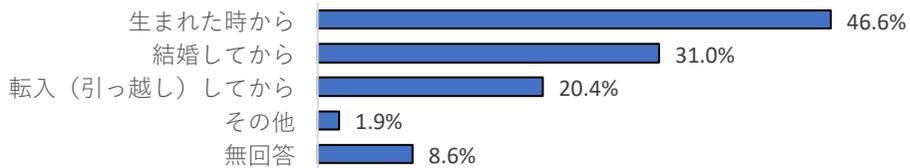
| 地区名 | 有効回答数 / 実配布数 |
|------|--------------|
| 有旅第一 | 99.0% |
| 有旅第二 | 96.8% |
| 上有旅 | 89.9% |
| 犬石 | 80.3% |
| 十二 | 73.3% |
| 笹鍋 | 84.4% |
| 青池 | 89.0% |
| 山布施 | 71.2% |
| 遊谷 | 90.3% |
| 若林 | 83.3% |
| 夜・大 | 82.4% |
| 秋古 | 70.0% |
| 村山 | 75.0% |
| 粒良田 | 59.0% |
| 瀬成 | 85.7% |
| 計 | 83.4% |

世帯構成 (同居)

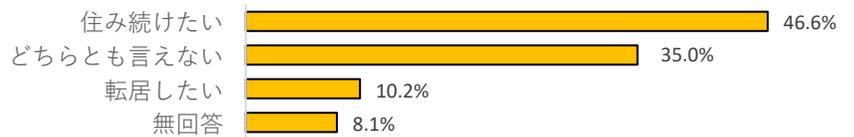


暮らしについての満足度

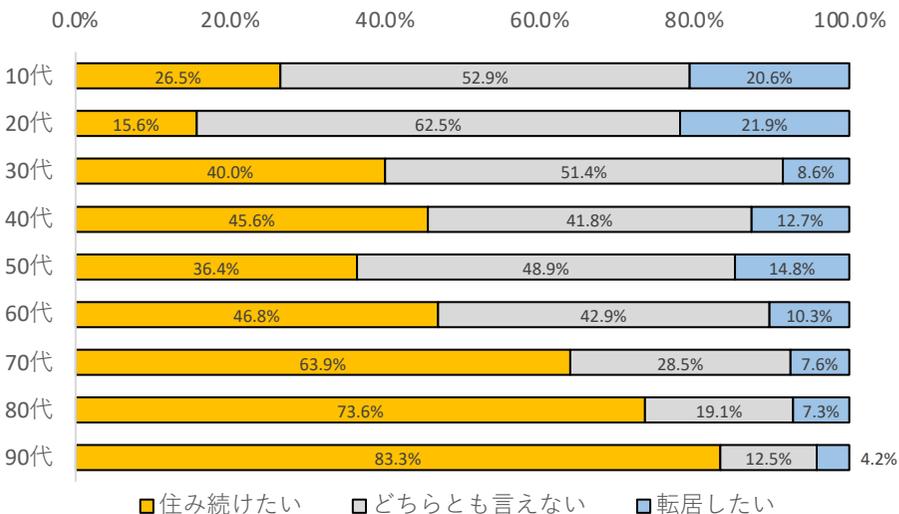
いつから信里で暮らしていますか



これからも信里に住み続けたいですか



【世代別】



主な意見

【住み続けたい】

・ 住み慣れているから

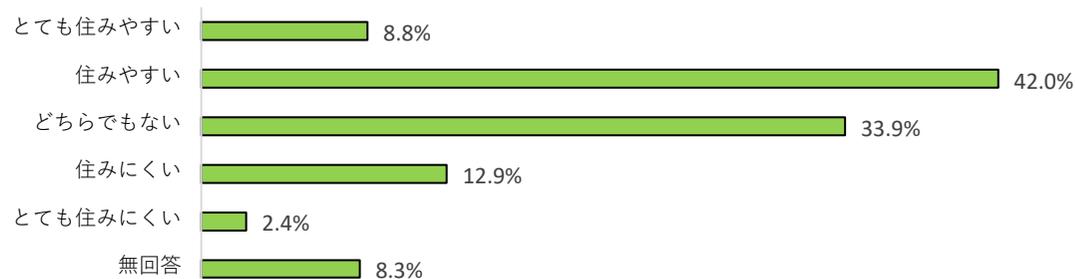
【どちらとも言えない】

・ 年をとったあとの暮らしの不安がある

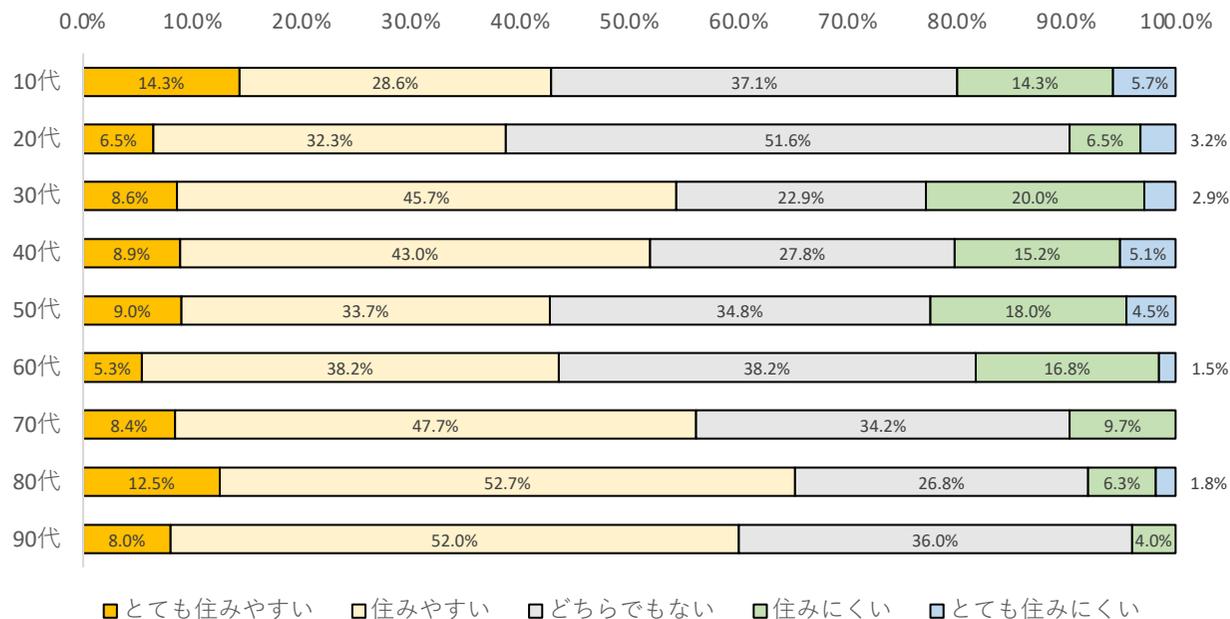
【転居したい】

・ 免許返納後の生活が不安

信里は住みやすいと感じていますか



【世代別】



主な意見

【とても住みやすい・住みやすい】

・ 自然が豊かで市街地が近くて便利

【どちらでもない】

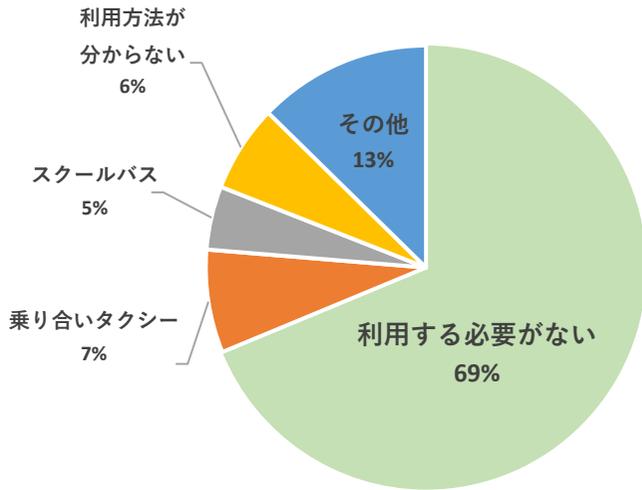
・ 自然豊かだが、交通の便や雪かき、役の多さなどの問題も

【住みにくい・とても住みにくい】

・ 車がないと生活ができないので通勤・通学・通院などが困難

日常生活について

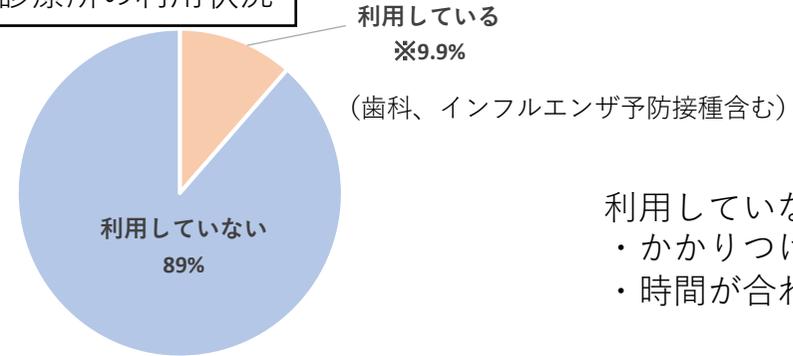
地域バスの利用状況



※その他の主な意見

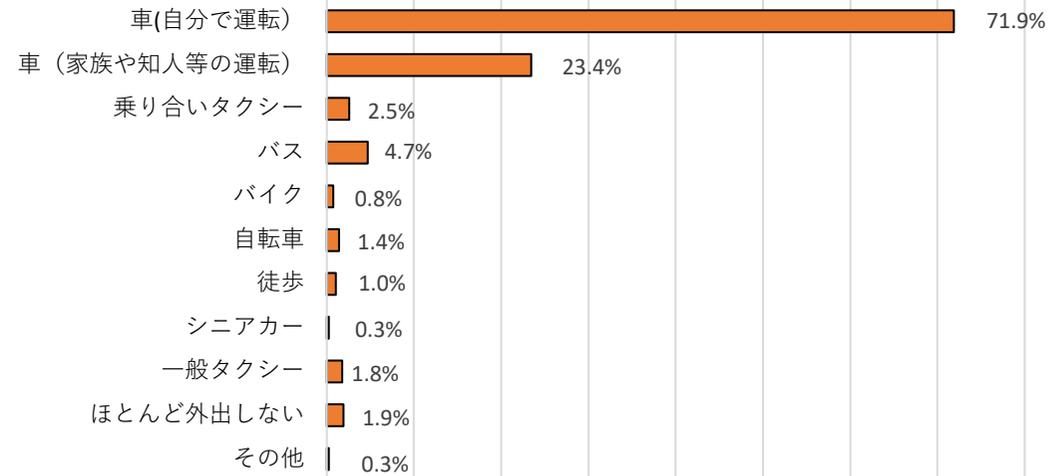
- ・時間帯が合わない
- ・将来的に高齢で運転できなくなった場合利用する
- ・路線の方向が利用しづらい
- ・家族などが送迎してくれる
- ・飲酒時に利用する

診療所の利用状況



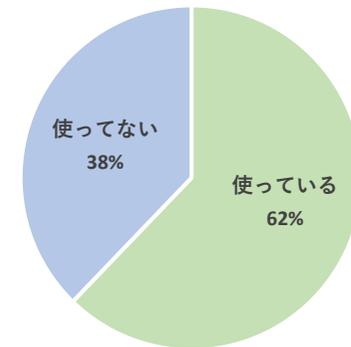
- 利用していない理由
- ・かかりつけ医がいる
 - ・時間が合わない

日常的な移動手段（複数回答可）

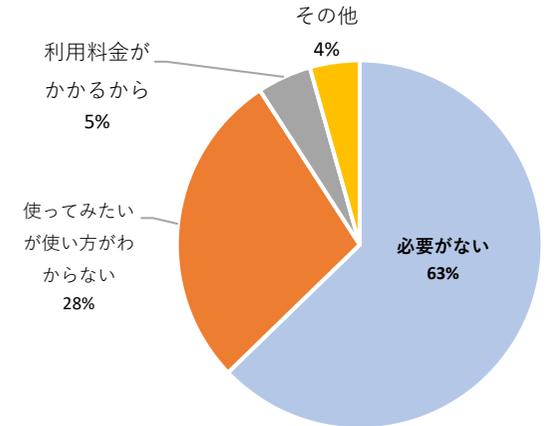


他の項目での困りごとや要望事項からも、少子高齢化が進む中での移動手段の確保が大きな懸案事項であることがわかる。

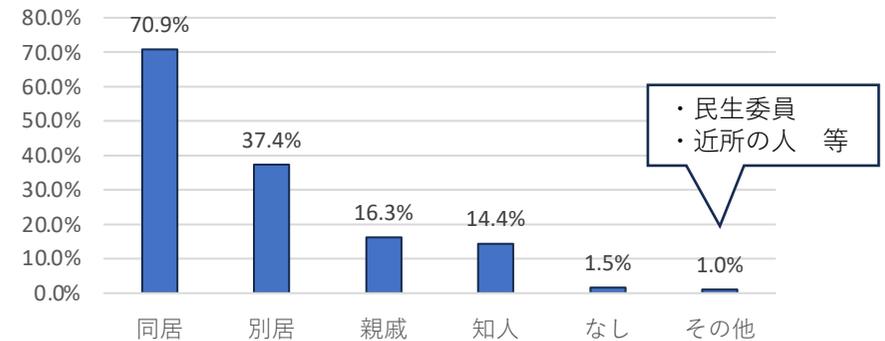
インターネットを日常的に使っていますか



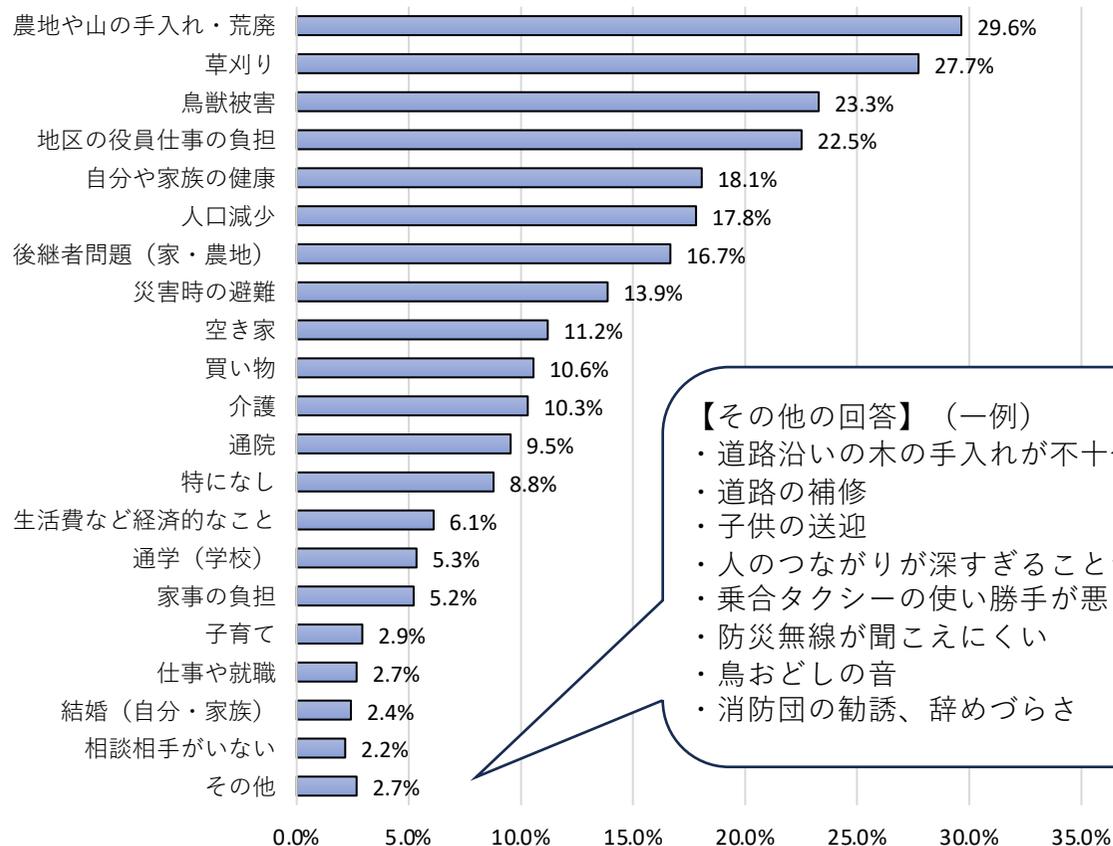
※使っていない理由



困ったときに頼る人（複数回答可）



日常生活での困りごと、不安なこと（複数回答可）



【その他の回答】（一例）

- ・道路沿いの木の手入れが不十分
- ・道路の補修
- ・子供の送迎
- ・人のつながりが深すぎることもある
- ・乗合タクシーの使い勝手が悪い
- ・防災無線が聞こえにくい
- ・鳥おどしの音
- ・消防団の勧誘、辞めづらさ

“農地や山の手入れ・荒廃”、“草刈り”が幅広い年代で課題となっている一方で、“地区の役員仕事の負担”も上位に来ていることから地域内での助け合いにも限りがあることがわかる。維持管理の方法や範囲の見直し、外部からのサポート体制を構築することに加え、空き家対策による人口増、農地や山林の有効利用などあらゆる角度からの検討が必要である。

若い世代の人口が少ないため全体として下位になっている項目についても対策を行っていくことが必要である。若い世代の転出を防ぎ、移住者にとっても魅力のある地域となるために地域内外、官民間わず協力関係を築いて暮らしやすい地域づくりを目指していきたい。

【世代別】 ※特になしを除く

【10代】

- 1位 通学
- 2位 買い物

【20代】

- 1位 買い物
- 2位 介護／農地や山の手入れ・荒廃／人口減少

【30代】

- 1位 草刈り／農地や山の手入れ・荒廃／人口減少
- 2位 生活費など経済的なこと

【40代】

- 1位 地区の役員仕事の負担
- 2位 農地や山の手入れ・荒廃

【50代】

- 1位 地区の役員仕事の負担
- 2位 草刈り

【60代】

- 1位 農地や山の手入れ・荒廃
- 2位 草刈り

【70代】

- 1位 草刈り
- 2位 農地や山の手入れ・荒廃

【80代】

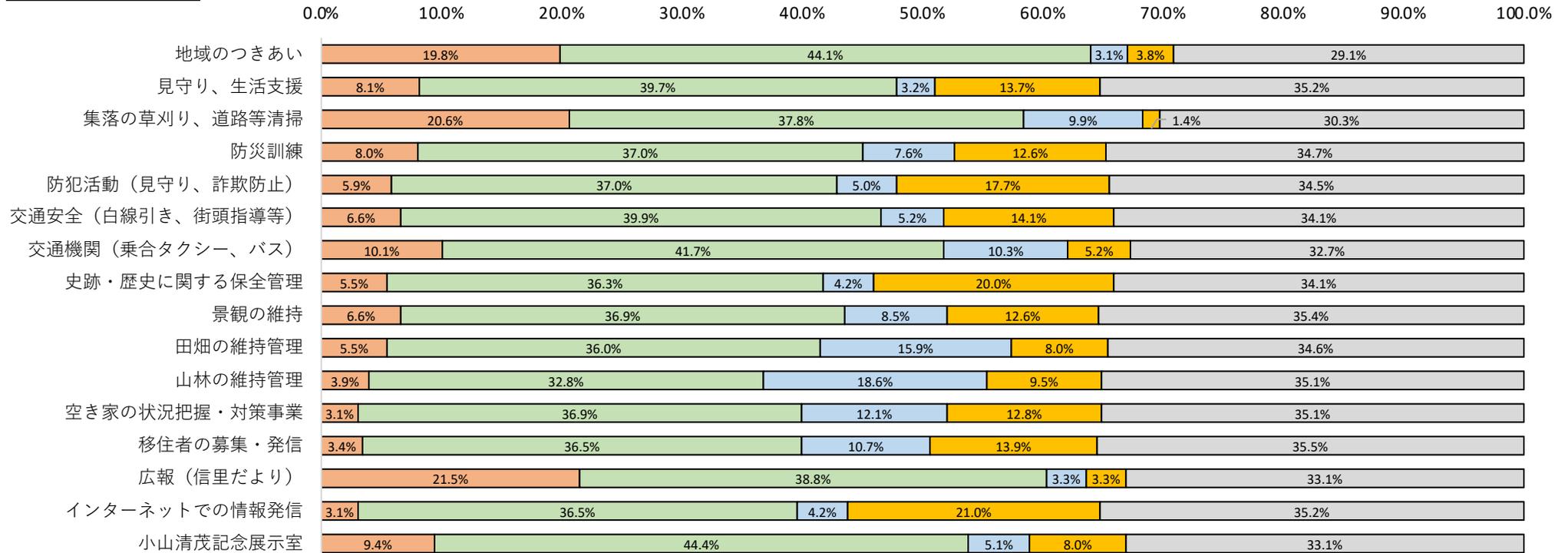
- 1位 農地や山の手入れ・荒廃
- 2位 自分や家族の健康／鳥獣被害

【90代以上】

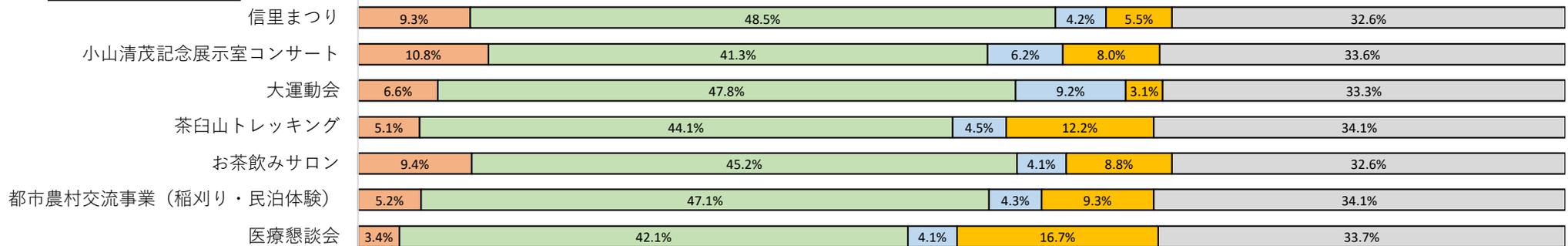
- 1位 農地や山の手入れ・荒廃
- 2位 後継者問題（家・農地）

信里地区内で実施されている事業の評価

一般事業等



イベント関係

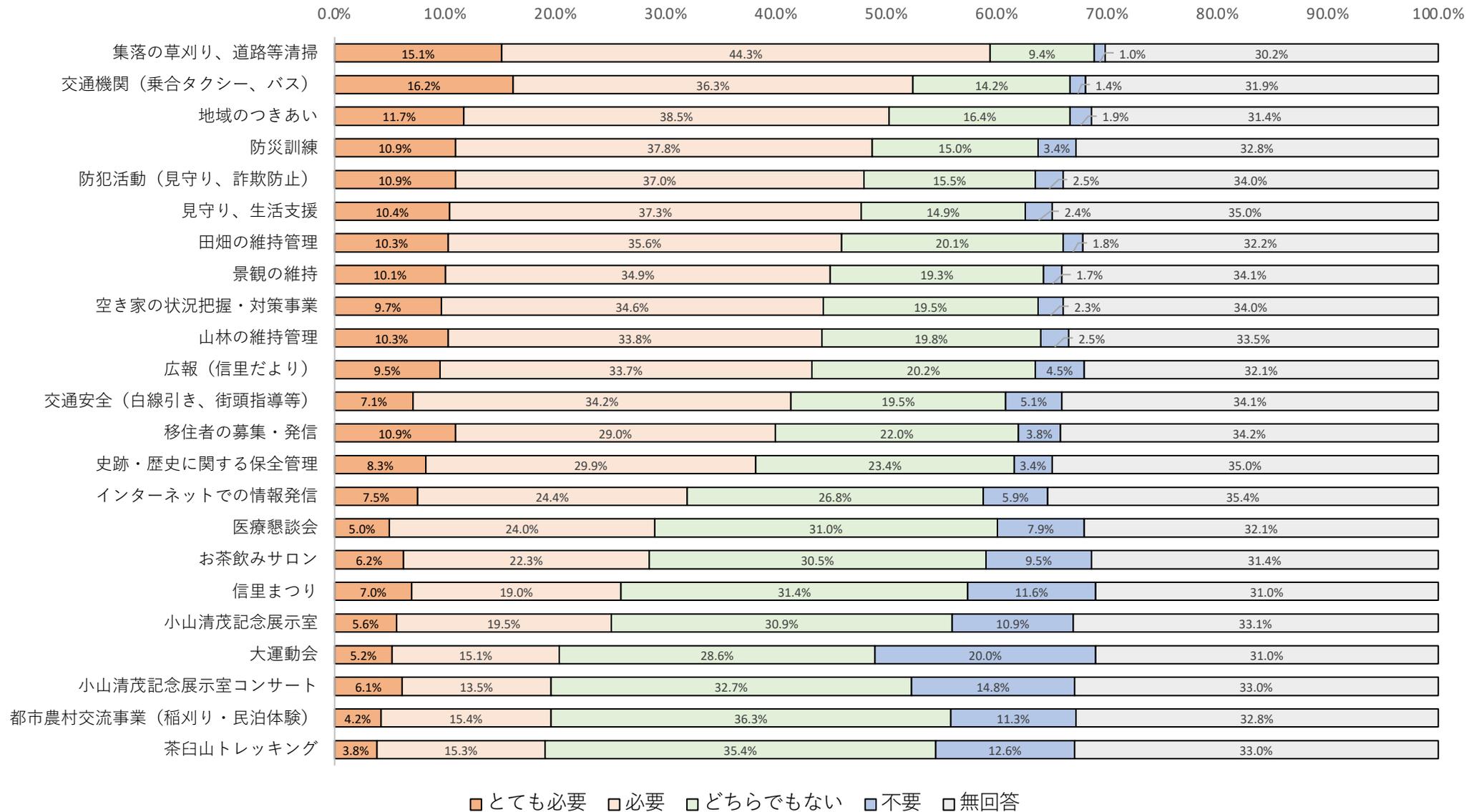


■満足 □どちらでもない □不満 ■存在を知らない □無回答

- ・ 広報（信里だより）の評価が高い。
- ・ 山林・田畑の維持管理の状況に不満を持っている人が多い。

信里地区内で実施されている事業の必要性

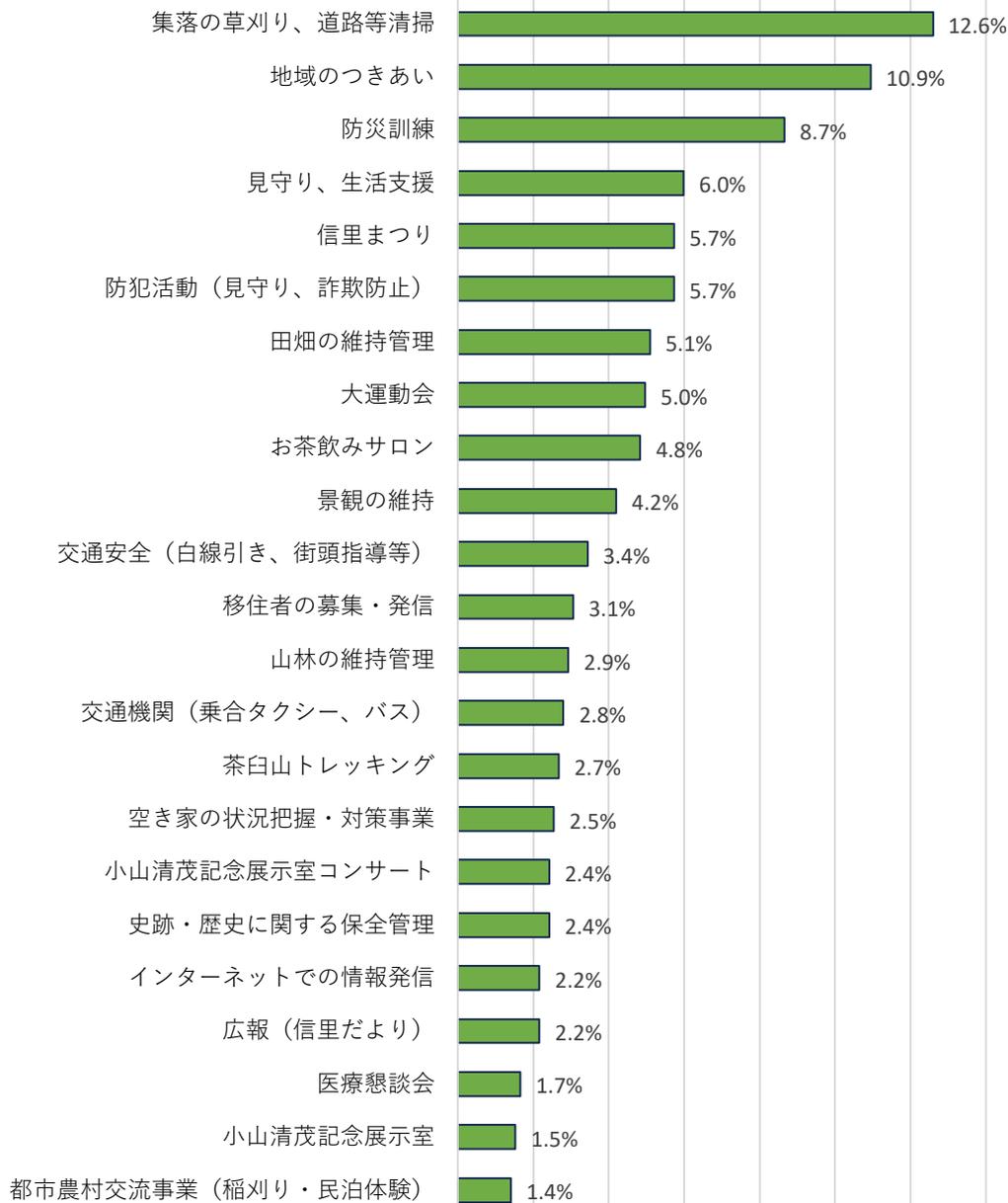
※必要度が高い順（“とても必要”+“必要”の合算）



- ・草刈りや交通等の日常生活に密接に関わる項目の必要性が高い。
- ・イベント関係の必要性が全体的に低くなっている。

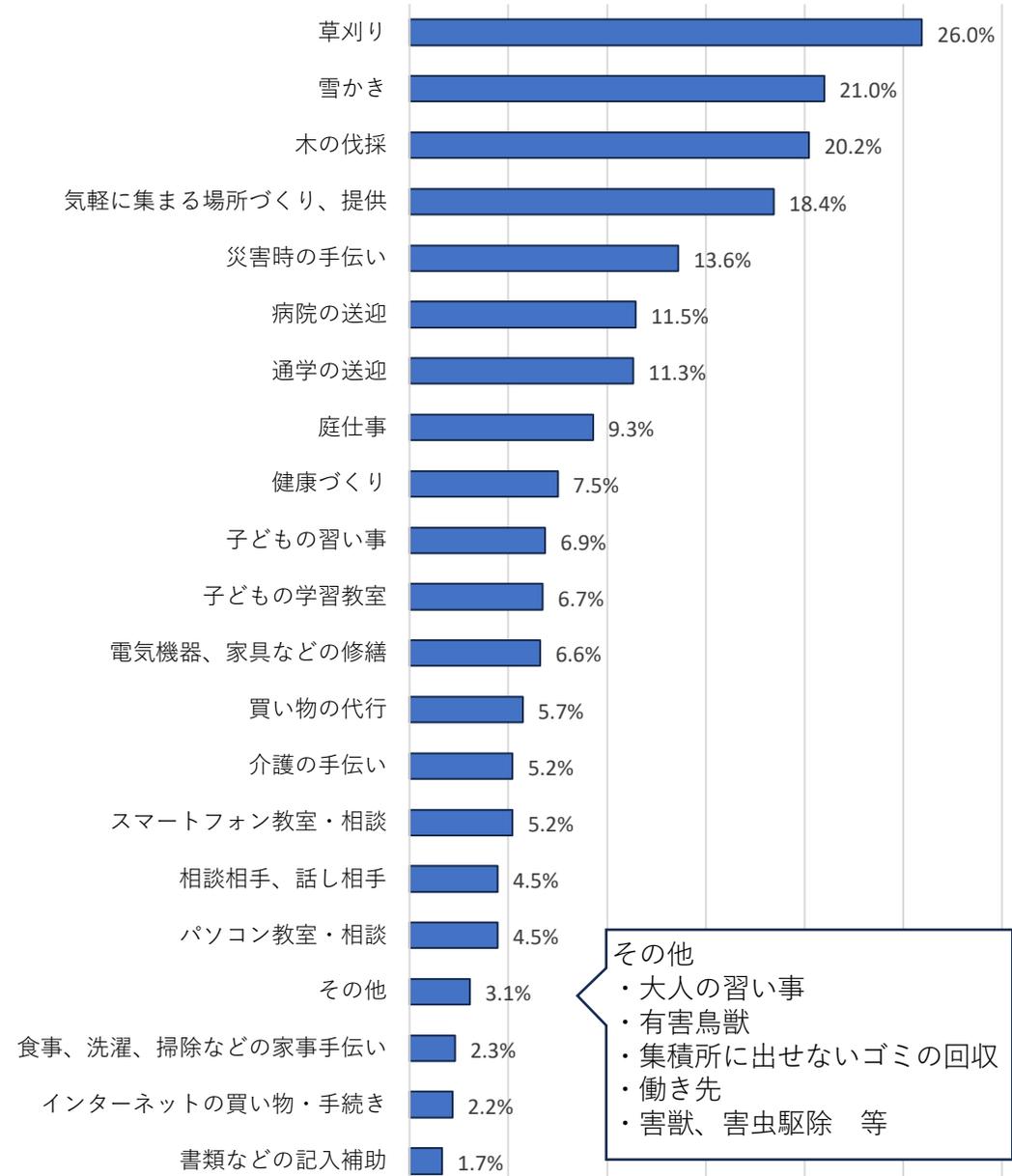
活動について協力できるもの（複数回答可）

回答数が多い順



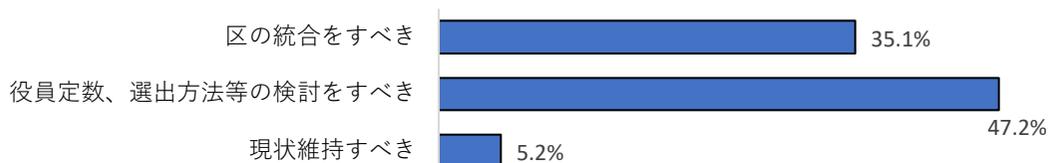
地区内であれば利用したいもの（複数回答可）

回答数が多い順



信里地域委員会について

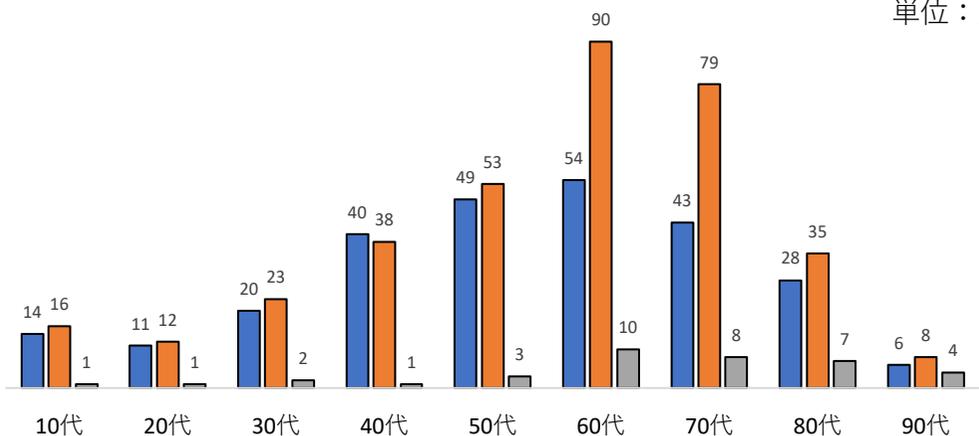
役員が選出困難な状況の対策について（複数回答可）



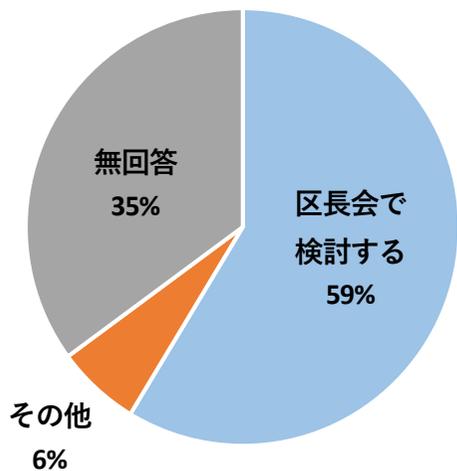
【世代別】

■ 区の統合 ■ 役員定数、選出方法の検討 ■ 現状維持

単位：人



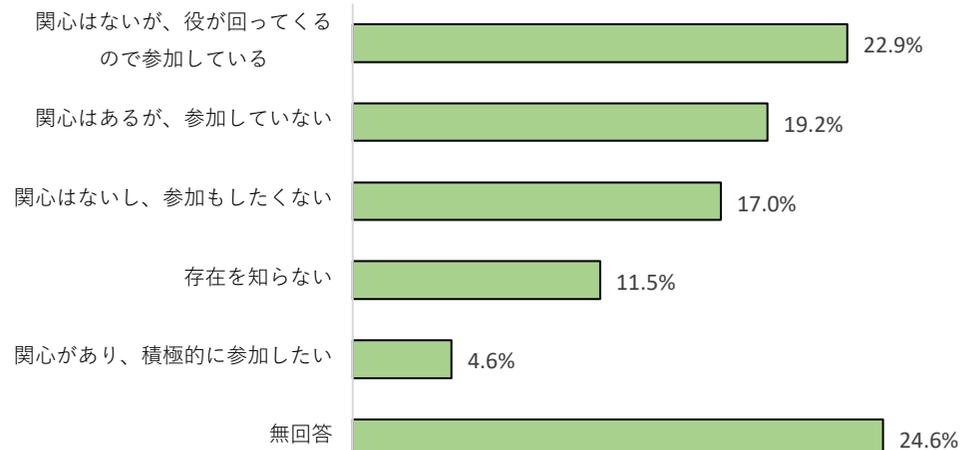
信里地域委員会委員長の選出方法について



【その他の意見】

- ・ 手当を増額する
- ・ 外部の人材を登用する
- ・ 地域委員会自体を解散する
- ・ 立候補制

信里地域委員会についての関心



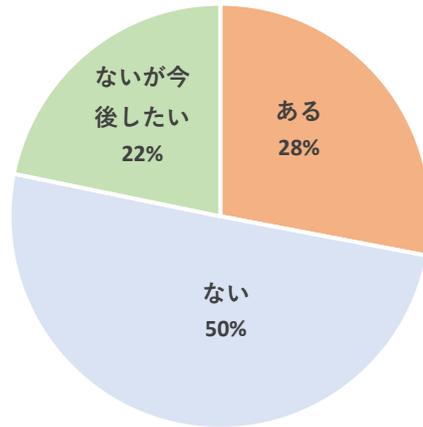
【世代別】



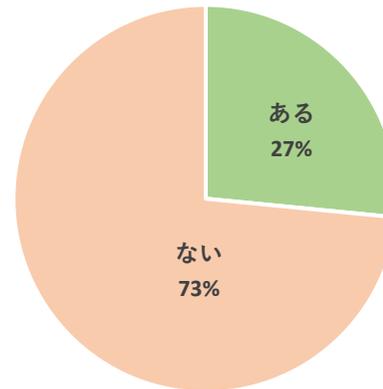
- 関心があり積極的に参加したい
- 関心はないが、役が回ってくるので参加している
- 関心はあるが、参加していない
- 関心はないし、参加したくない
- 存在を知らない

空き家問題

家の相続や親族所有の空き家について身内の方と話し合ったことはありますか



近所の空き家になっている家について困りごとはありますか



【“ある”の意見】

- ・草がすごい
- ・ハクビシンが住み着いている
- ・廃墟になっている
- ・崩れそうで危ない

全体を通して

◇回答者属性

- ・年代や地区毎の人口に大きな偏りがあるため、結果の分析については精査が必要。

◇暮らしについての満足度／◇日常生活について

- ・若い世代の定住意向が低いことは将来的な人口減の加速が懸念されるため対策が急務。
- ・特に高齢者層が交通に関する不安を多く抱えているためフォローが必要。

◇信里地区内の事業評価・必要性／◇地区内であれば利用したいもの

- ・役員負担が課題である中で、この結果を踏まえて事業の取捨選択、内容の見直しは必須。
- ・需要があり既存の行政や民間サービスがあるものについては地区住民に案内していく。無いものについては行政等に働きかけていき、地区役員の負担にならないように配慮する。

◇活動について協力できるもの

- ・自助（自分や家族）、公助（行政等）だけではカバーしきれない共助（地域での助け合い）の部分については可能な限り協力者を募りながらフォローしていく。

◇地域委員会について

- ・住民自治は住民による、住民のためのものという基本的な認識が浸透していないことが参加意欲の低さの原因であることが自由記述からも読み取れる。漫然と役を回していくことが無いよう、目的や意味について共有する機会を作らなければならない。

◇空き家問題

- ・相続関係の法律が厳格化されていく状況の中で住まいについての関心の低さは課題。
- ・既に発生している空き家による問題についても地域としてフォローしていく必要がある。